

国民健康保険 町立小鹿野中央病院 地域医療研修（4週間）プログラム

1. 施設の概要・特色

小鹿野町は、埼玉県の西北端にあり、豊かな自然に囲まれた、人口約11,300人、高齢化率約38%の典型的な中山間地です。当院は1953年に国保直診として開設した歴史があり、2002年には病院に行政の保健福祉センターを併設して、保健・医療・介護・福祉の多職種協働による地域包括ケアシステムを充実させてきました。"地域に親しまれ信頼される病院"を基本理念に地域包括医療・ケアを実践しており、予防から看取りまで地域の様々な医療やケアのニーズに迅速に対応できる研修に最適なフィールドです。総合診療医として在宅⇄入院の切れ目のない医療を担うとともに、地域の課題を包括的な視点で考えられる医師の育成を目指しています。

2. 研修可能な診療科（診療科または領域）

総合診療科、整形外科

- 病棟診療：入院患者を担当し、入院早期から退院までのプロセスを指導医の下、体験し、在宅ケアにつなげる。
- 外来診療：外来診察において、指導医とともに新規患者の病歴聴取、診察、検査立案を行い、鑑別診断と治療計画を考える。
- 訪問診療・訪問看護等：在宅患者を他の職種と訪問し、各専門職の業務を理解し、連携の必要性を学ぶ。
- 救急対応、手術：救急搬入される患者への対応を、病棟担当医とともにを行い、診療現場を体験する。また、手術室内の業務に参加する。
- 内視鏡等各種検査の現場体験：検査手技の見学と、コメディカルの仕事を理解する。

3. 研修プログラム

(1) 一般目標（GIO）

地域医療の現場を実体験すること。県境山間部唯一の病院という、医療資源が限られた環境で、医療者がどのようなスタンスで、地域住民の健康保持・増進、予防、外来診療や、入院診療、在宅診療を行い必要なケアへつなげているか、専門医療機関や急性期病院との連携や役割分担など、地域医療の幅広い役割を体験する。特に、保健・福祉・介護と連携した地域包括医療・ケアを理解し、地域住民と触れ合い、総合的・全人的な医療を体験すること。

(2) 行動目標（SBOs）

- ① 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。
- ② 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。
- ③ 上級及び同僚医師や他の医療従事者と連携し患者中心の医療を提供できる。
- ④ 医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。
- ⑤ 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- ⑥ 保健・医療・福祉の各側面に配慮しつつ、診療計画を作成できる。
- ⑦ QOL（Quality of Life）を考慮にいった総合的な管理計画（リハビリテーション、社会復帰、在宅医療、介護を含む。）へ参画する。
- ⑧ 学校、家庭、職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる。
- ⑨ ターミナルケアを含んだ在宅医療を理解し実践できる。
- ⑩ 食事・運動・休養・飲酒・禁煙指導とストレスマネジメントができる。
- ⑪ 予防接種を安全に実施できる。
- ⑫ 健康診断や検診の目的を理解し、健診や事後指導を担当することができる。
- ⑬ 基本的な緩和ケア（WHO方式がん疼痛治療法を含む。）ができる。
- ⑭ 行政と連携し、地域の保健活動に参加、立案が出来る。
- ⑮ デイケアなどの社会復帰や地域支援体制を理解する。
- ⑯ 療養病棟で生活する高齢者の診療について理解し、実践する。
- ⑰ 病診連携のなかで、診療所や「かかりつけ医」の役割を理解し、実践する。
- ⑱ へき地・離島医療について理解し、実践する。

(3) 研修方略（LS）

指導医の指導のもとに、指導計画に則って、外来診療を通じた入院時診療計画の立案から治療、退院までを一連の流れと

したプライマリケアを実践する。具体的には病棟管理と退院計画・退院指導、在宅への訪問診療、介護保険法によるかかりつけ医の意見書作成等、施設内外での他の専門職との連携と協働、行政・学校・職場と連携した予防医療の実践、地域の保健・医療・福祉施設や人的資源と連携し、地域の特性、その医療機関の地域における役割、医師の地域における役割を理解し、可能な範囲で実践する。

(4) 研修評価方法 (EV)

2週間ごとにリフレクションを行い、指導医等から指導を受ける。研修終了時に研修医から病院へ評価票の提出を受ける。評価委員会を開き各行動目標の達成度などを評価する。

4. スケジュール

(1) 研修期間

4週単位の受入れ可

(2) 週間スケジュール

病院名： 小鹿野中央病院

		主な予定											
		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
月	朝の 回診 8時 から	830 朝会	病棟・急患対応				昼 食 休 憩	病棟・救急対応		病棟カンファ			
火		病棟	外来研修					病棟・リハビリカンファランス 手術又は検査、院外研修					
水			内視鏡 検査	リハビリテーション				病棟・救急対応 地域ケア会議 (1・3週)		包括ケア 会議(2,4 週)			
木		830 朝会	院外研修					病棟・検査 または 院内研 修		リ フ レ ク シ ョ ン	緩 和 ケ ア カ ン フ ア		
金		病棟	外来研修					院外研修					
土		外来・急患対応 (1, 3週)											

- *病棟研修：指導医とともに回診・処置・カルテ記載等病棟業務を行う。
- *外来研修：外来見学および指導医の下、初診患者の問診、検査計画、診断を行う。
- *急患対応：病棟担当医とともに救急搬入された患者を診療する。
- *検査：超音波検査（臨床検査技師）、消化管造影検査（放射線技師）、内視鏡（医師）
- *水曜隔週で、地域ケア会議（14：00）包括ケア会議（16：30）
- *下記の院内研修及び院外研修が予定表に組み込まれます。
- 院内研修：主治医意見書作成会議、緩和ケアカンファランス、事例検討会、デイケア（通所リハビリ）
※緩和ケア振り返りカンファランス（第2木曜日）
- 院外研修：訪問看護同行、ケアマネ訪問同行、診療所訪問診療、緩和ケア訪問診療、薬剤訪問指導同行、
精神障害者作業所、介護施設往診（特別養護老人ホーム）、こじか筋力体操、乳幼児健診等

初期研修医（地域医療研修）受入れ状況

国保町立小鹿野中央病院

平成29年度	埼玉医科大学病院	1名
	自治医科大学附属さいたま医療センター	6名
	埼玉石心会病院	3名
	独立行政法人 国立国際医療研究センター	1名
	川口市立医療センター	7名
平成30年度	埼玉医科大学病院	2名
	自治医科大学附属さいたま医療センター	2名
	独立行政法人 国立国際医療研究センター	3名
	川口市立医療センター	13名
平成31年度 (令和元年度)	自治医科大学附属さいたま医療センター	3名
	川口市立医療センター	11名
	埼玉石心会病院	4名
令和2年度	自治医科大学附属さいたま医療センター	2名
	川口市立医療センター	12名
	埼玉石心会病院	4名